

コジュリン

Emberiza yessoensis (Swinhoe)

スズメ目ホオジロ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

全国的に数のすくない種類である上、県内での繁殖地は河北潟干拓地のみである。

形態

全長15cm、全身褐色で胸から腹部は淡褐色。オスの夏羽では頭巾を被ったように頭部が黒い。

国内分布

青森県、千葉県、茨城県などに夏鳥として渡来し、局地的に繁殖している。冬は本州中部以南のヨシ原や草原で越冬する。

県内分布

春から夏、河北潟干拓地の牧草地、麦畑で少数が見られ、繁殖していると考えられる。ただし干拓地の農業に依存している部分が大きく、将来の作物転換によっては消失する可能性がある。秋から冬にかけては県内のヨシ原で越冬すると思われるが、観察記録はほとんどなく、実態はよく分かっていない。

生態

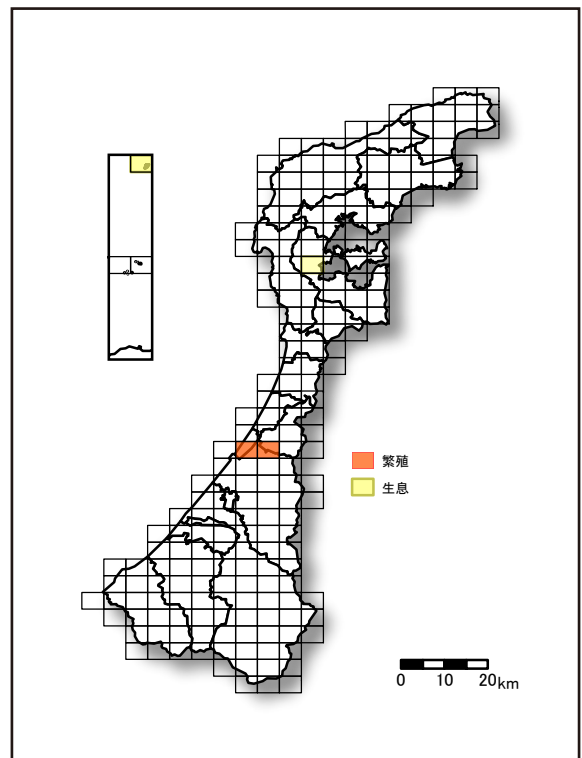
春から夏にかけて、ヨシや背の高い草に止まってさえずる。5月から7月にかけてイネ科の草の根元に営巣する。約2週間でふ化し、11~12日で巣立ちする。

生息地の条件

ヨシ原、牧草地、麦畑など広い草原。

生存の危機

牧草地や麦畑の作物転換、放棄などによる生息地の草原の消失。(A, B)



県内の分布